

## 令和2年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	74	学校名	浜松湖南高等学校	記載者	岩崎 典子
------	----	-----	----------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	生徒の「主体的・対話的な深い学び」と「基礎学力向上」につながる学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や家庭学習で学力・技能が向上したと回答する生徒 93%以上</li> <li>授業の中で、自分の考えをまとめたり、周囲と共有したりする機会が多いと回答する生徒 90%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中、全教員が一致団結し、常に工夫しながら、より良い授業、生徒にわかりやすい授業に取り組む姿勢、積極的にAL型授業に取り組む姿勢は、高く評価できる。</li> </ul>
	3年間を見通した系統的・効果的な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校は生徒や保護者が必要としている進路情報を十分提供していると回答する保護者 90%以上</li> <li>1年生で志望分野が決定した生徒 95%以上、2年生で第1志望先が決定した生徒 90%以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の将来を検討する指導が適切なタイミングで学校行事予定に組み込まれており、各学年で必要な情報を随時発信し、系統的・効果的な進路指導を実践している。</li> <li>保護者が関心を持ち積極的に進路について考える進路講話等の充実を期待する。</li> </ul>
イ	新しい時代の教育を見通した教育カリキュラムの検討・試行	<ul style="list-style-type: none"> <li>「総合的な探究の時間」改訂案の提示</li> <li>新学習指導要領に基づく教育課程の編成</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「探究活動」の位置づけを明確にし、実際の指導に向けて丁寧に検討されている。</li> <li>ALの成果や課題を踏まえて、教科間で連携しながら令和4年度に向けた着実な検討・審議を進めることを期待する。</li> </ul>
ウ	校内規則及び社会規範の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>校則等を守り、高校生らしい服装・行動をしていると回答する生徒 95%以上</li> <li>自転車通学生徒のTSマーク貼付率 100%</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の服装が良く、声掛けに気持ちの良い挨拶を返すなど、規範遵守等は市内でもトップレベルと感じる。今後も個性や主体性に配慮した指導の継続を期待する。</li> </ul>
	各種教育活動を通じた生徒の主体性・自尊感情の涵養と個性の伸長	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事や部活動等に生徒が主体的に取り組んでいると答える教職員及び生徒 90%以上</li> <li>1・2年生の年間読書数平均7冊以上</li> <li>各部活動における継続的な県大会出場</li> <li>本校の教育活動がよくわかると回答する来校者及び外部評価者 90%以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍であらゆる行事がストップする中、最大限の努力ができています。</li> <li>湖南高校の優れた特徴の一つである行事や部活動への積極的な取組が、教員と生徒の対話の中で、より充実した計画・実施となることを期待する。</li> <li>重要な課題の一つとして、読書に対する動機付けを高める取組をお願いしたい。</li> </ul>

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
エ	生徒の心身の健康を維持する指導及び支援体制作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診が必要な生徒の治療率 85%以上</li> <li>・校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所があると答える生徒 85%以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で年度当初にできなかった検診を、苦勞しながらも実施できている。</li> <li>・中学校や外部機関との効果的な連携を推進し、生徒の悩み等に適切に対応するための教育相談活動が一層充実することを期待する。</li> </ul>
	安全・安心な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の清掃点検において全チェック箇所が良好な状態になっている。</li> <li>・訓練や研修会等によって安全・安心に対する意識が高められたと答える生徒・教職員 90%以上</li> <li>・施設・設備の事故 0 件</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の清潔な状態が保たれ、生徒の安全・安心が得られているとともに、トイレの一部改修等、教育環境は十分に整備されている。</li> <li>・防災委員会の活動が、さらに活性化することを期待する。</li> <li>・地域の防災訓練に参加して避難地や避難所を知ったり、救急法の研修に参加したりすることで生徒の安全意識がさらに向上する。</li> </ul>
オ	新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌、各学年、事務部の業務改善・縮減 1 件以上</li> <li>・定時退庁日を意識した勤務ができていると回答する教職員 90%以上</li> <li>・部活動ガイドラインを意識した活動が実践できたと回答する教員 95%以上</li> <li>・HP トップページ改良と更新回数の増加。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化に前向きなチャレンジをしているが、改善がつかない。業務改善には、アンテナの高さ・意識が重要である。</li> <li>・業務改善・縮減は、将来の教育現場の発展や充実につながるため、今後も経験を生かしてより効率の良い事務・指導が行われることを期待する。</li> </ul>
カ	英語教育・国際交流事業等を通じた生徒の国際感覚・異文化理解の深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流事業が国際感覚の醸成に役立ったと回答する生徒 90%以上</li> <li>・英語学科の生徒が卒業時までに英語検定 2 級以上取得する割合 90%以上</li> <li>・普通科 2 年生の GTEC における平均得点率 67% 以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の特色の一つである英語教育・国際感覚の醸成にできる限りのチャレンジがなされている。さらに充実することが期待される。</li> <li>・英検合格者数(一級 1 名、準一級 13 名)等に、学校と生徒の努力が表れている。</li> </ul>
キ	参画と連携・協働による生徒の異文化理解・多文化共生意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な交流・連携事業への参加により異文化理解が深まったと回答する生徒 95%以上</li> <li>・国際交流・異文化理解・多文化共生事業等への参加希望生徒延べ 250 人以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県下の高校の中でも、特に国際交流や校外との交流に積極的に取り組んでおり、生徒の活発な「学び」につながっている。</li> <li>・ヘンドン校とのオンライン交流には難しい点があるが、もう少し広げられる可能性があると思う。新たな教育方法を開発する機会をとらえ、積極的に検討することを期待する。</li> </ul>